

2011年10月25日  
キヤノングローバル戦略研究所シンポジウム  
『TPPの論点』

# TPPの経済成長促進効果

戸堂康之

東京大学 新領域創成科学研究科



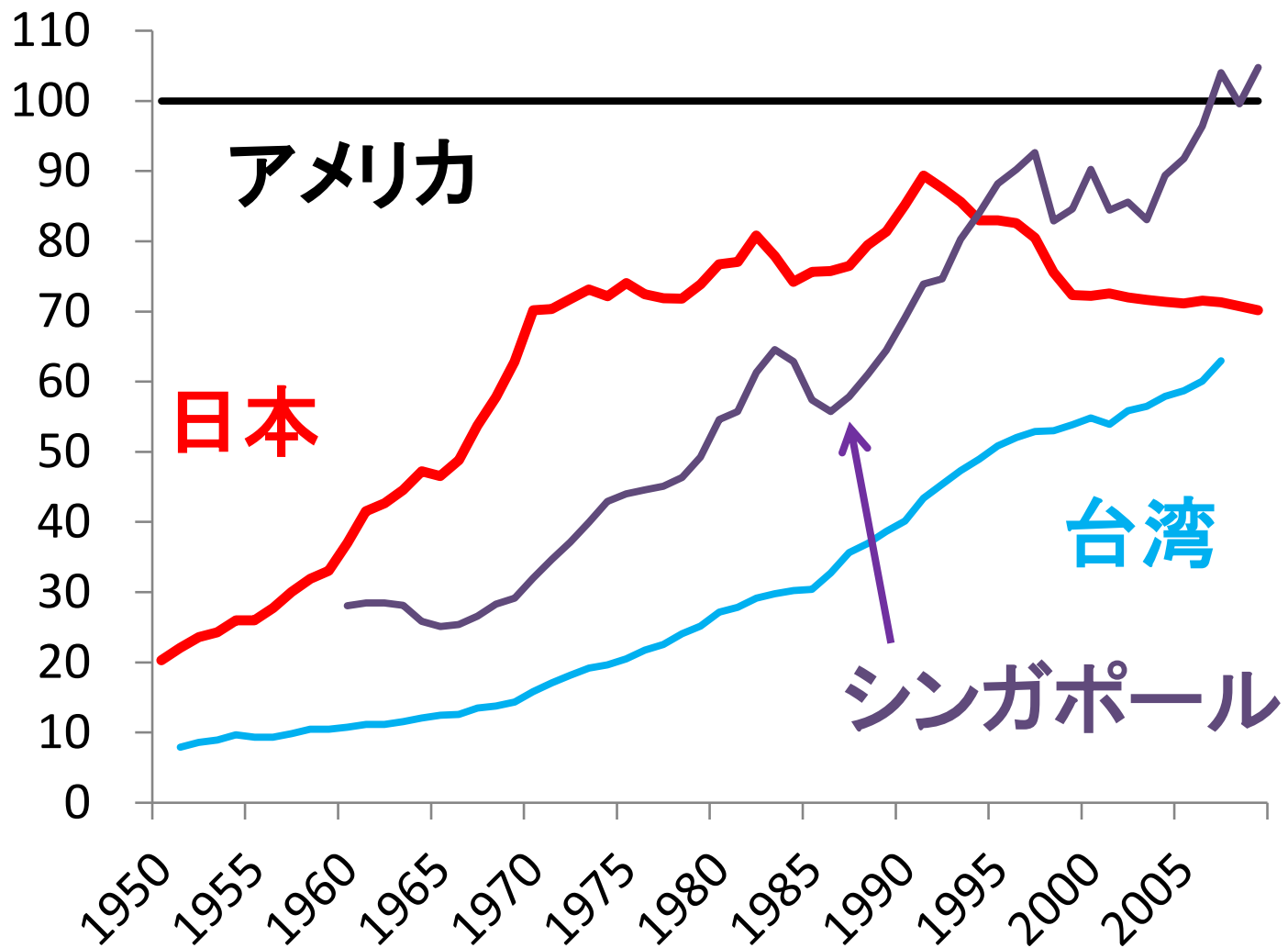
TPPに参加  
すべきか

日本はもっと  
開国すべきか

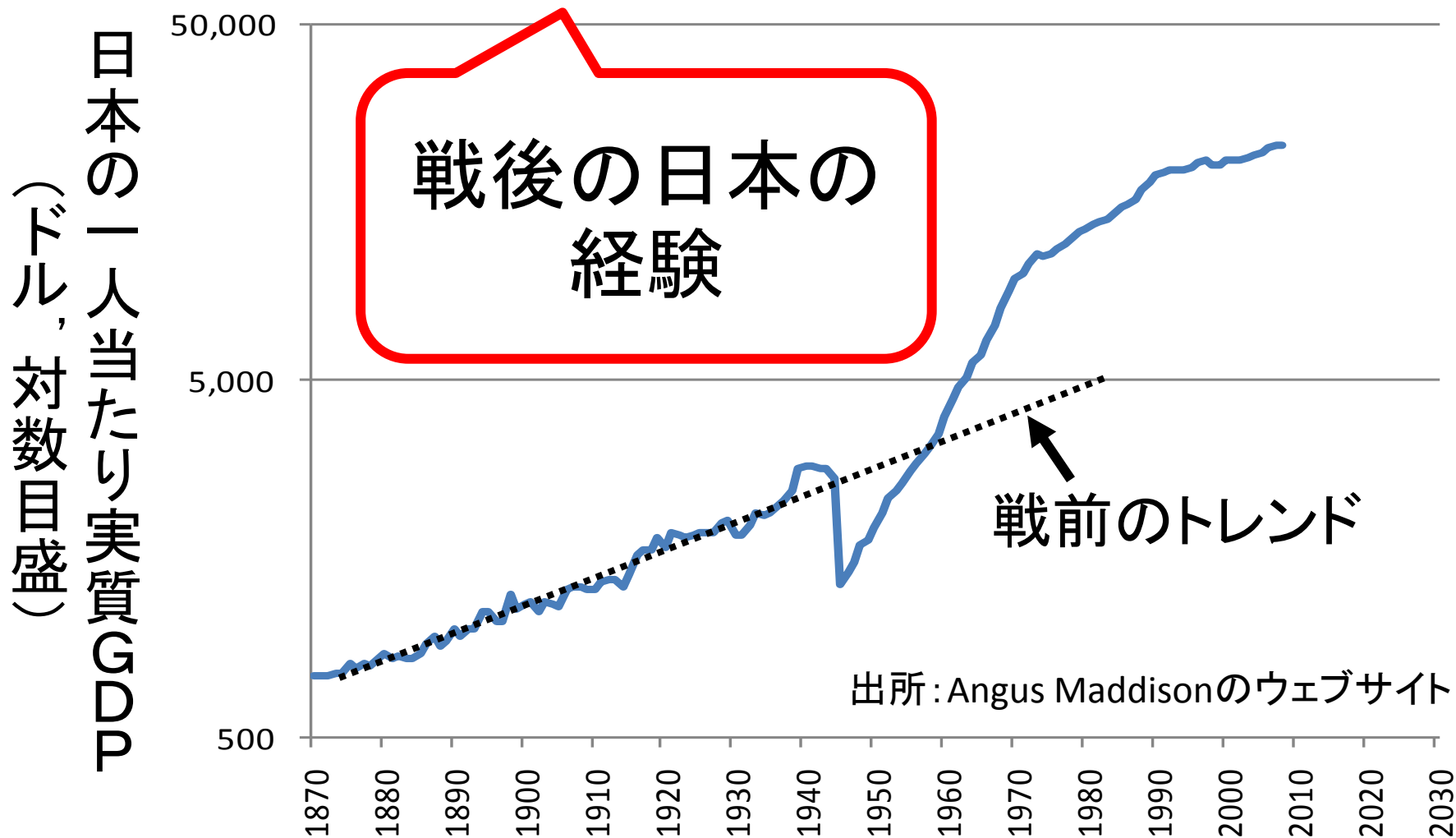
20年後の日本は  
どうあるべきか

# 「復興」では日本経済は没落する

1人当たり実質GDP(購買力調整済み, アメリカ=100)

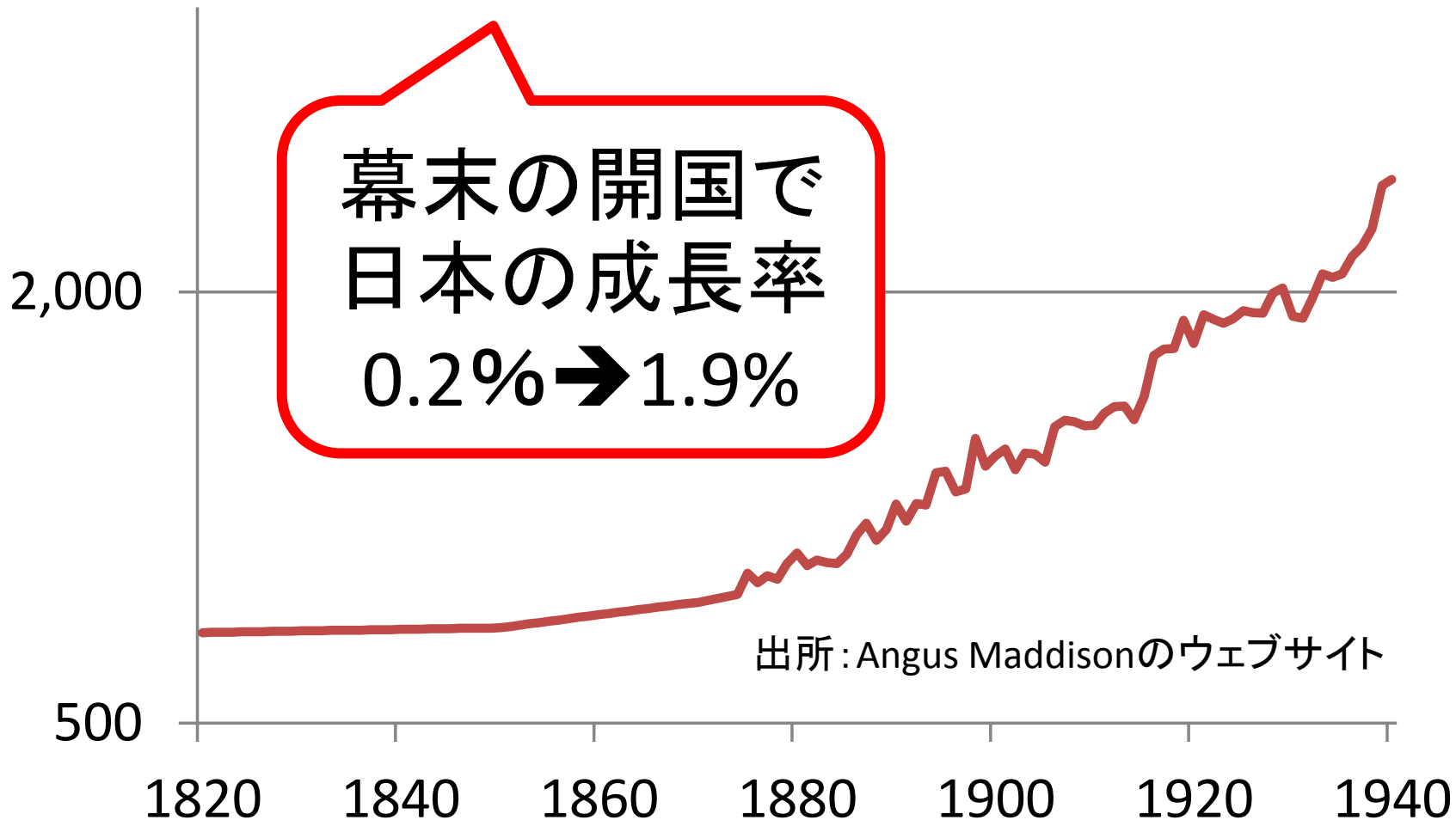


# 制度の大転換によって、 復興を超えた飛躍的成長は可能



# 制度の大転換によって、 復興を超えた飛躍的成長は可能

日本の一人当たり実質GDP  
(ドル, 対数目盛)

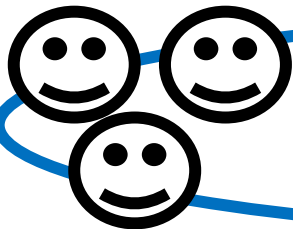


# グローバル化は成長を促進する

経済成長の源泉  
＝「技術」進歩

国内の  
技術革新

海外からの知識・  
技術流入



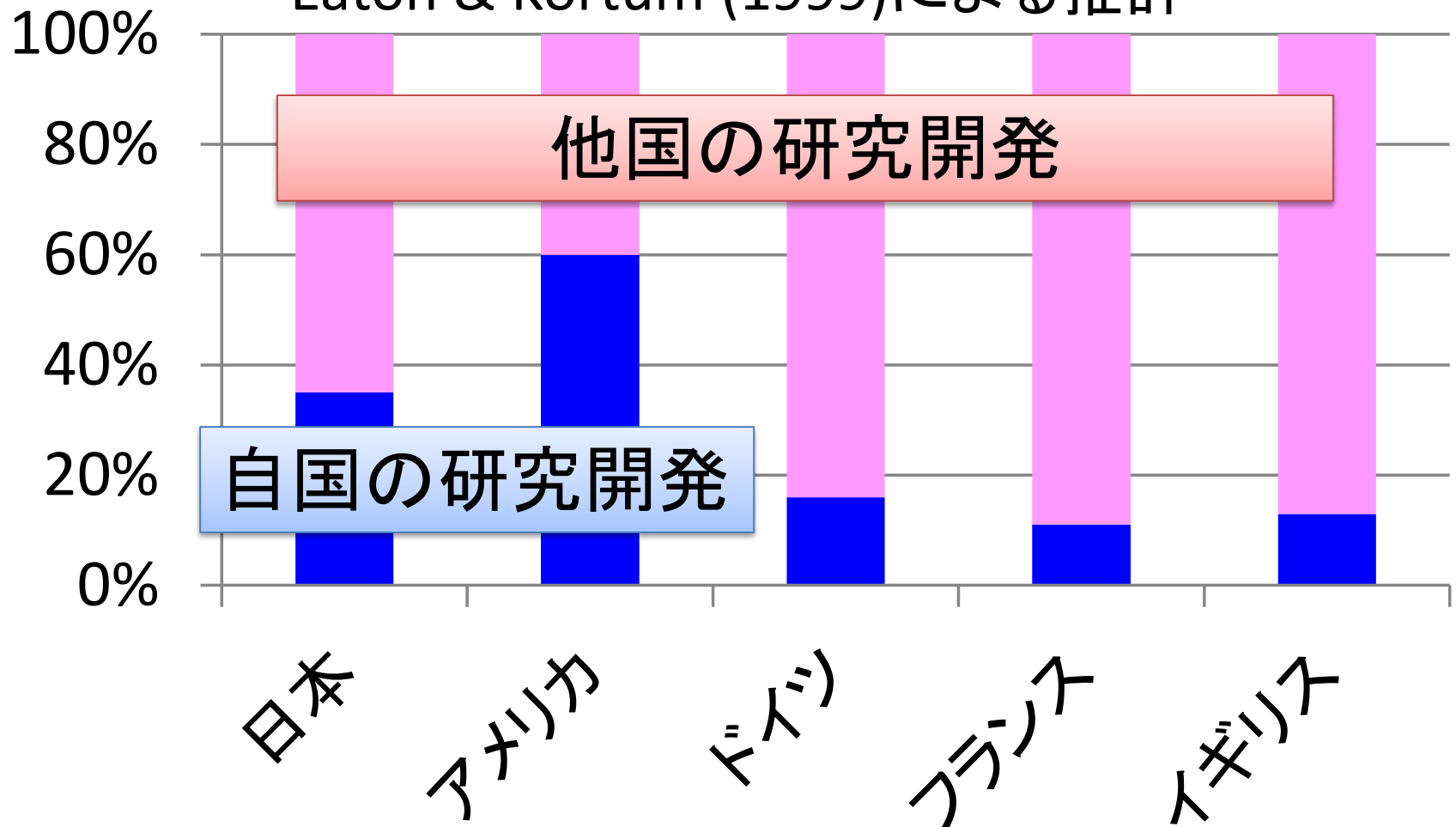
3人寄れば文殊の知恵

世界とつながって、世界の知恵を取り込む  
ことが成長のカギ

# 他国からの技術流入は無視できない

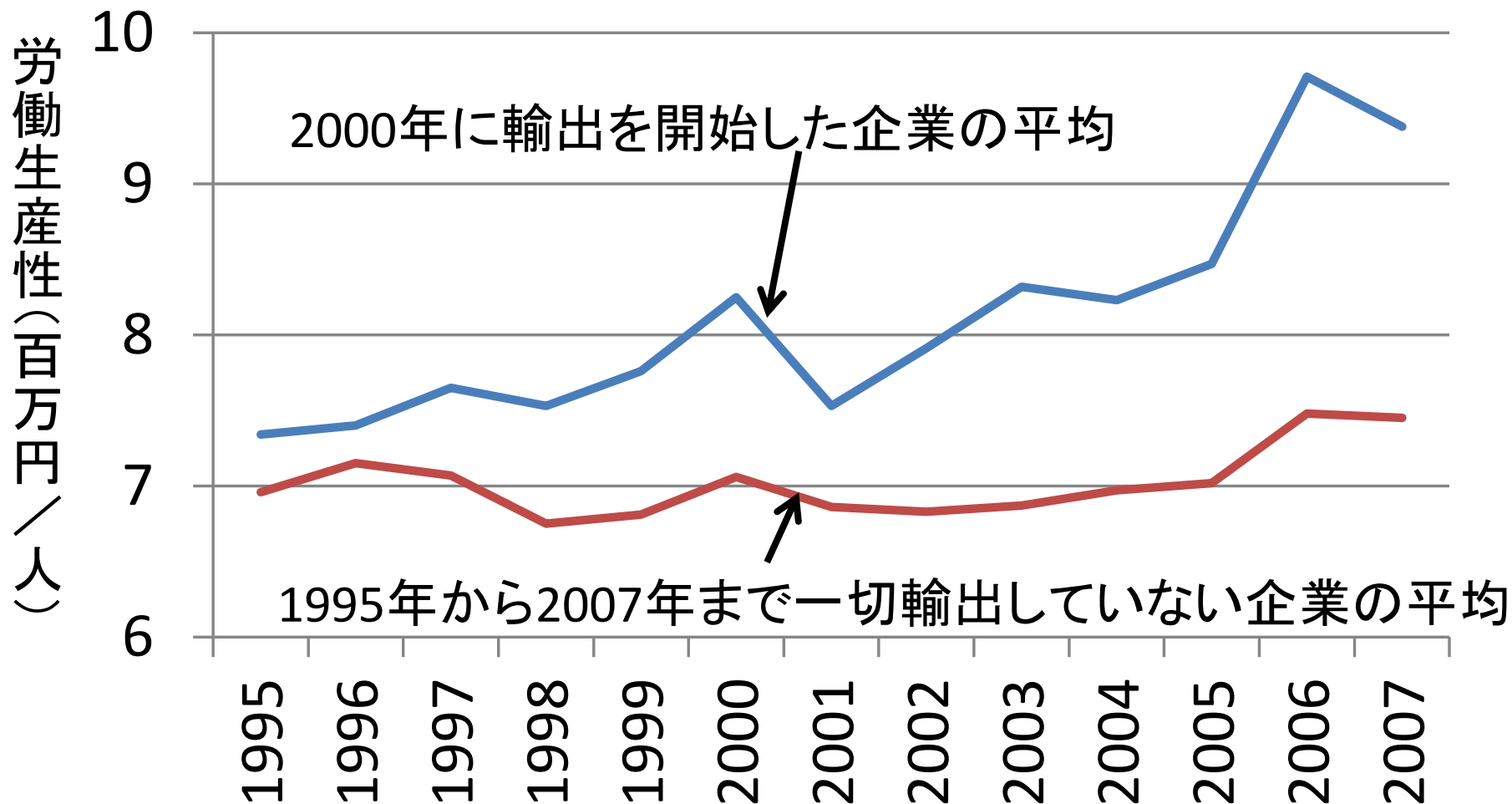
## 自国の生産性成長に対する貢献度

Eaton & Kortum (1999)による推計



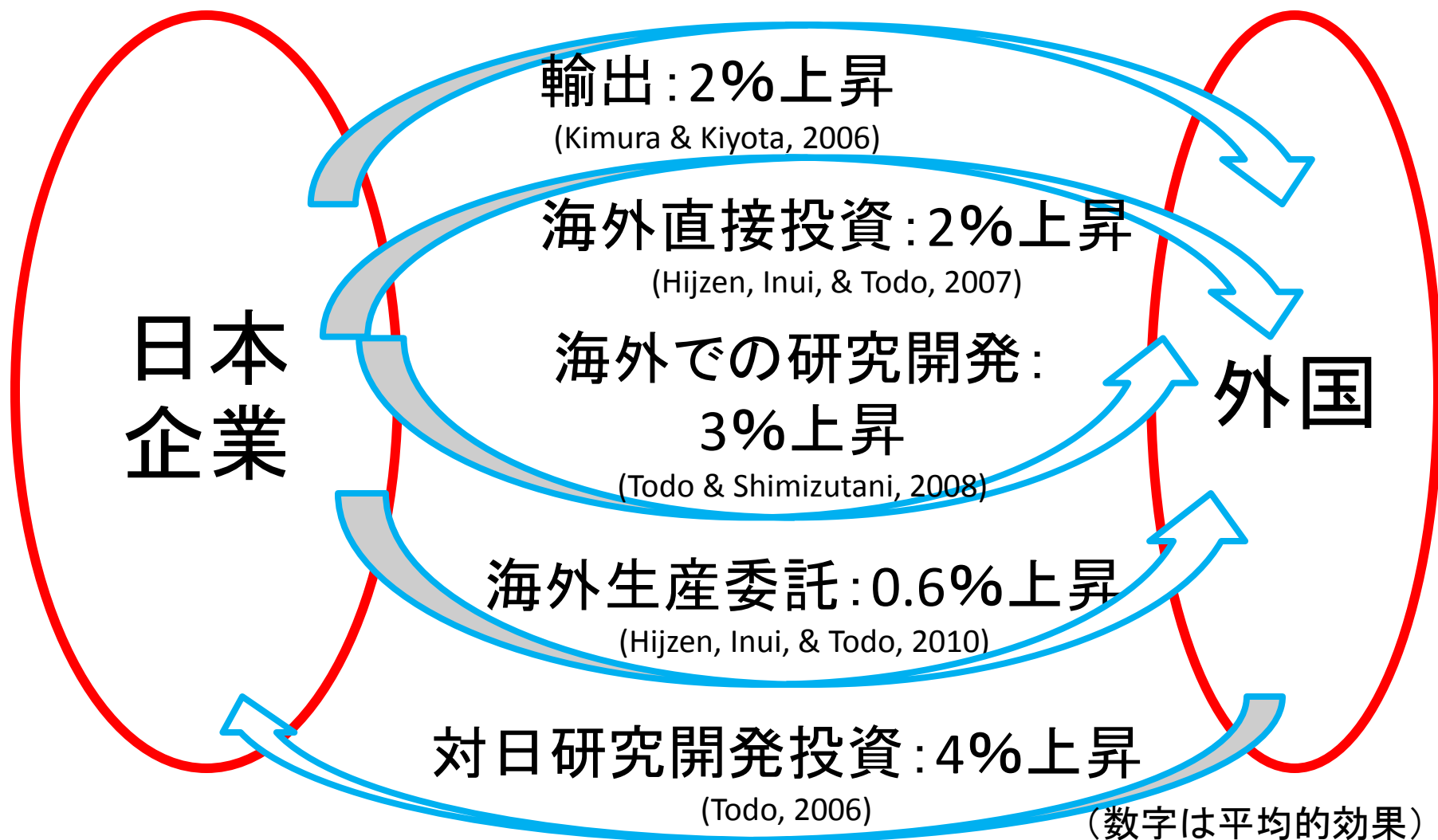
# 輸出によって生産性は上昇する

経済産業省『企業活動基本調査』

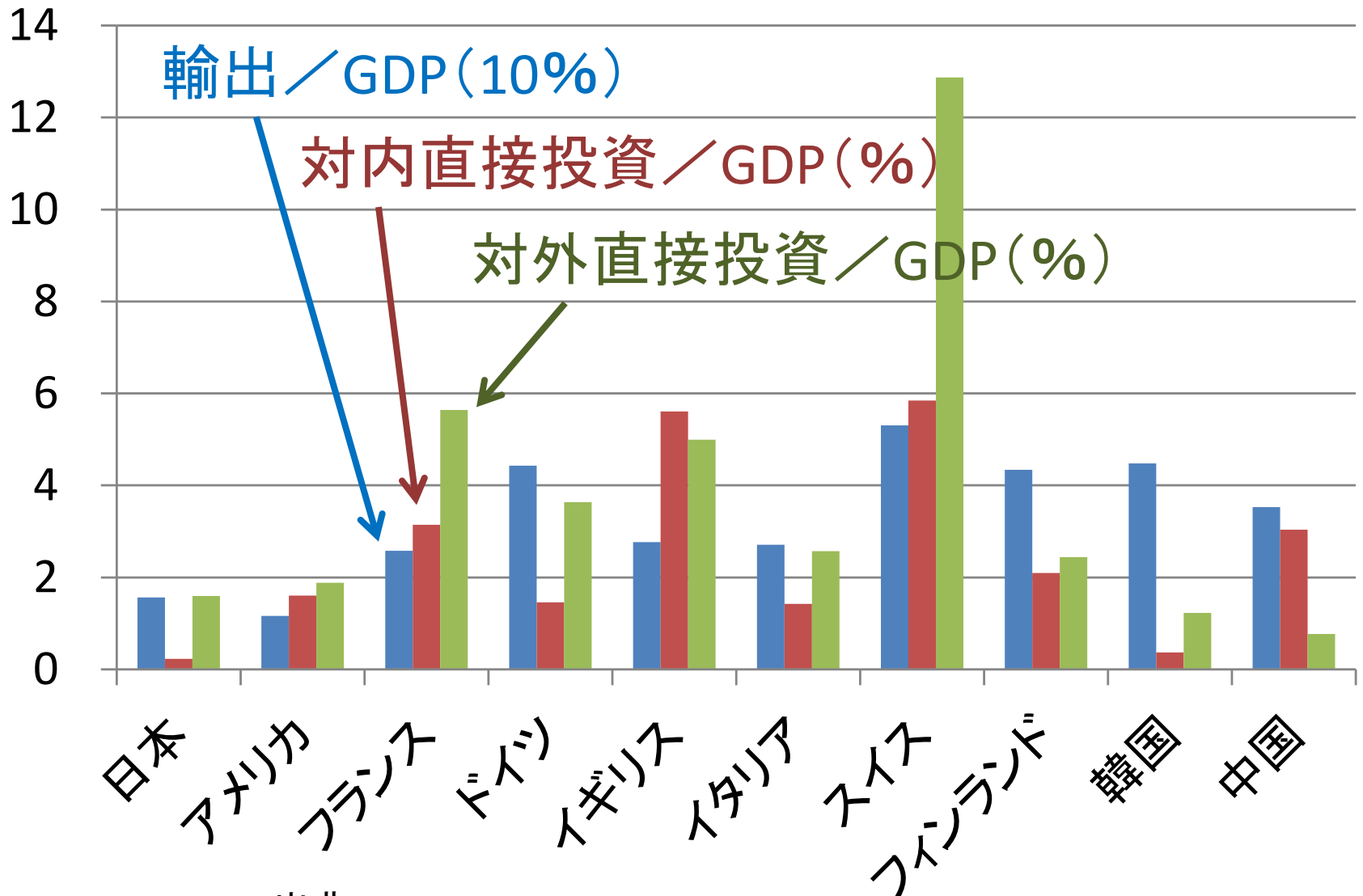




# 企業のグローバル化は、 外国技術の流入を促して生産性を拡大する



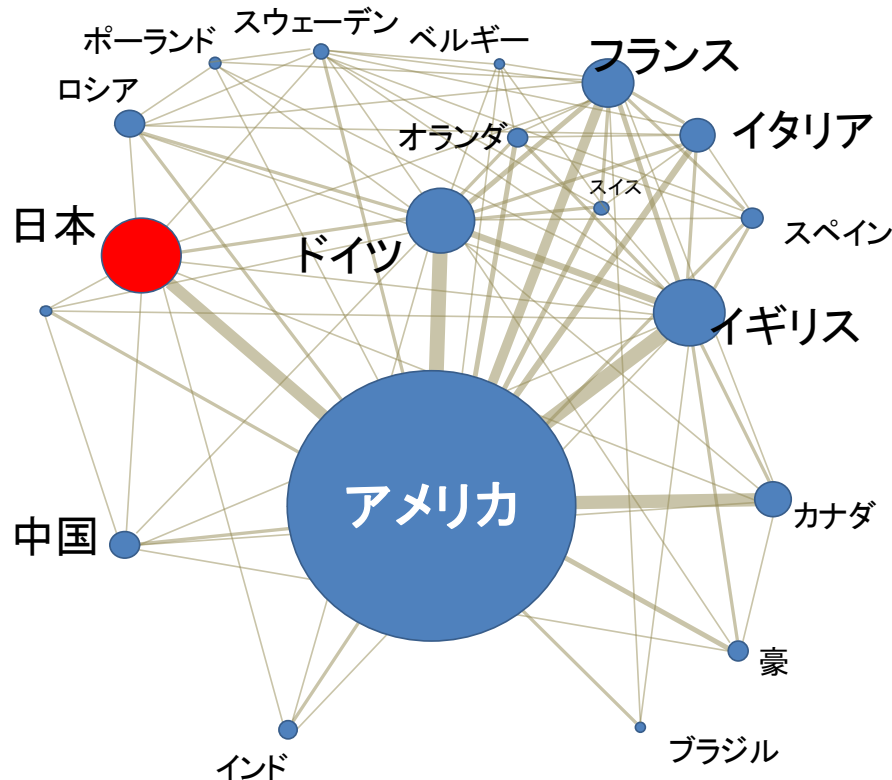
# 日本経済のグローバル化は遅れている



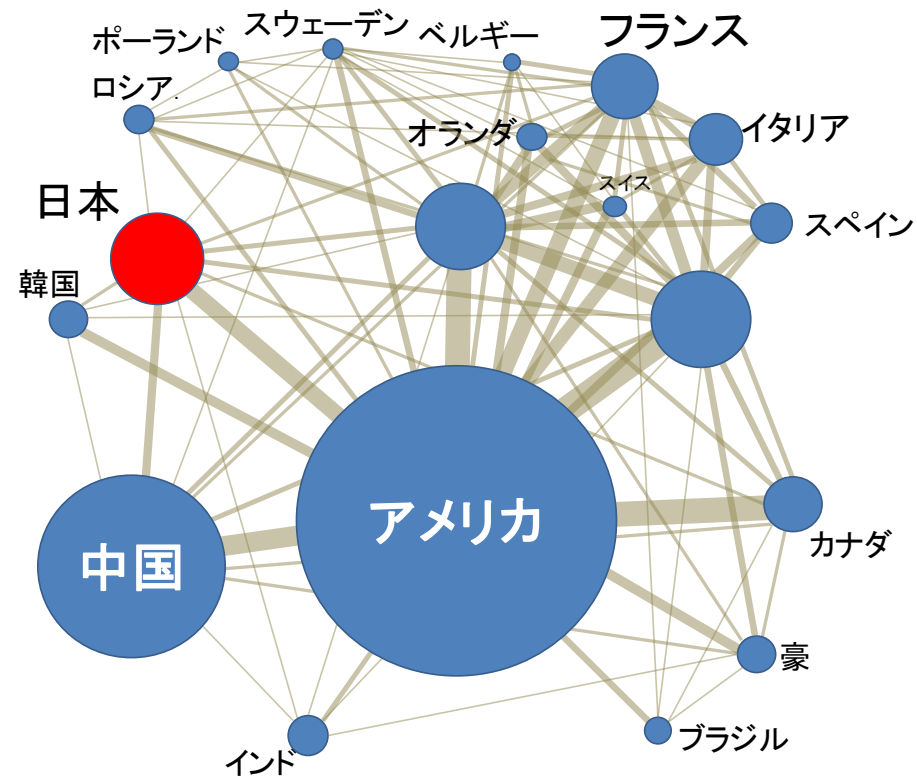
出典: World Development Indicators

# 研究開発のグローバル化も遅れている

円の大きさ=各国の学術論文数  
線の太さ=2国の共著者による論文数



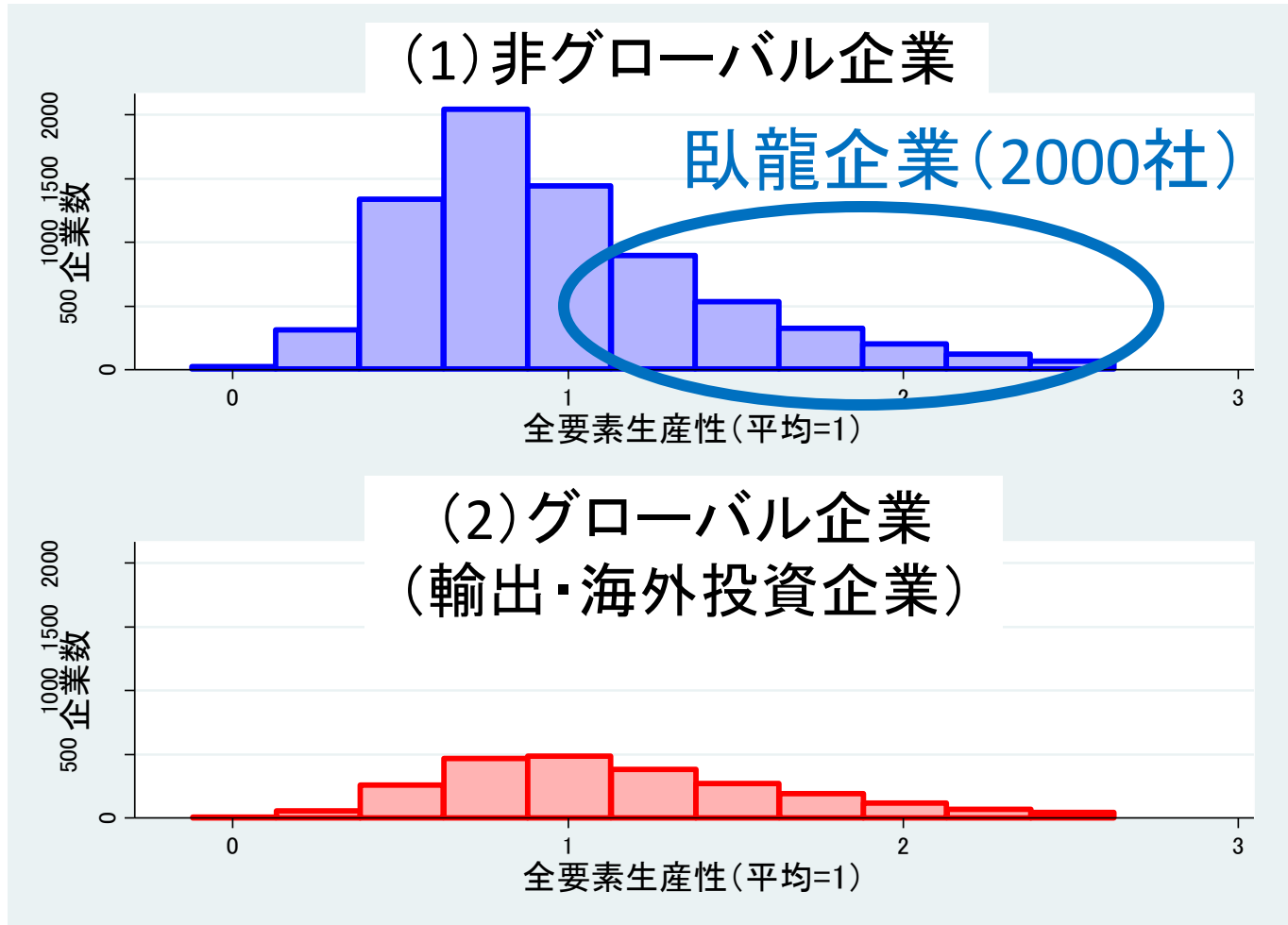
1998年



2008年

出所: OECD (2010)

# しかし、日本では生産性が高いのに グローバル化していない企業が多数ある



出所: 若杉他 (2008) (データは経済産業省『企業活動基本調査』2005年)

TPP

日本企業  
(臥龍企業含む)

輸出・投資

米・豪・星  
など  
先進国  
市場

新しい  
アイデア

情報・技術

波及

国内の他の企業

TPPによるつながりの強化  
→ 日本の技術進歩・  
経済成長

# TPPのGDPに対する効果の試算

- 内閣府: 3兆円増
- 経済産業省: 2020年に10兆円増

これは貿易創出効果  
技術進歩に対する効果は  
含まれていない

もし1人当たりGDP成長率が0.5%上昇すれば  
→10年でGDPの累積増加額: 100兆円

# 被災地の復興のためにもTPPを

- 被災地にも臥龍企業はいる
- 国内の輸出企業に部品を供給  
→ 海外に販路を拡大できるはず

中国の見本市「広州交易会」に  
被災企業12社が出展

福島県の林精器製造「震災で減った仕事を  
自力で回復させるために出展した。  
海外販売のきっかけにしたい」

2011年10月15日読売新聞

# 20年後の日本のために今何をすべきか

国を閉じて  
発展した例はない

国を開いて  
急速に成長した  
例は多い

日本は世界で勝負できる  
臥龍がたくさんいる

自信を持って  
国を開こうでは  
ありませんか



## 参考文献

- Eaton, Jonathan and Samuel Kortum (1999), "International Technology Diffusion: Theory and Measurement," *International Economic Review*, 40(3), pp. 537-570.
- Hijzen, Alexander, Tomohiko Inui, and Yasuyuki Todo (2010), "Does Offshoring Pay? Firm-Level Evidence from Japan," forthcoming in *Economic Inquiry*.
- Hijzen, Alexander, Tomohiko Inui, and Yasuyuki Todo (2007), "The Effects of Multinational Production on Domestic Performance: Evidence from Japanese Firms," RIETI Discussion Paper, No. 07-E-006.
- Kimura, Fukunari and Kozo Kiyota (2006), "Exports, FDI, and Productivity: Dynamic Evidence from Japanese Firms," *Review of World Economics*, 142(4).
- OECD (2010), *OECD Science, Technology and Industry Outlook*, Paris: OECD.
- Todo, Yasuyuki (2006), "Knowledge Spillovers from Foreign Direct Investment in R&D: Evidence from Japanese Firm-Level Data," *Journal of Asian Economics*, 17(6), pp. 996-1013.
- Todo, Yasuyuki and Satoshi Shimizutani (2008), "Overseas R&D Activities and Home Productivity Growth: Evidence from Japanese Firm-Level Data," *Journal of Industrial Economics*, 56(4), pp. 752-777.
- 若杉隆平, 戸堂康之, 佐藤仁志, 西岡修一郎, 松浦寿幸, 伊藤萬理, 田中鮎夢 (2008), 「国際化する日本企業の実像－企業レベルデータに基づく分析－」. 経済産業研究所ディスカッションペーパー, No. 08-J-046.